



2025年 5 月 14 日

各 位

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 会社名   | 株式会社サイバー・バズ                         |
| 代表者名  | 代表取締役社長 高村彰典<br>(コード番号：7069 東証グロース) |
| 問合わせ先 | 取締役 岩田真一<br>(TEL. 03-6758-4738)     |

### 「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「2025年 9 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」におきまして、これまで記載しておりました「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

当社グループは、前連結会計年度において、個別取引先に対する売掛金の入金遅延に伴う貸倒引当金繰入額が発生したことにより多額の営業損失を計上するとともに、マイナスの営業活動によるキャッシュ・フローとなりました。これらの影響により、当第 1 四半期連結会計期間末においても、短期有利子負債残高（合計 938,000 千円（うち短期借入金 830,000 千円、1 年内返済予定の長期借入金 108,000 千円））が、手元流動性（現金及び預金 839,306 千円）を上回る状況であり、また、流動負債残高（2,138,291 千円）が流動資産残高（1,971,886 千円）を超過しておりました。これらは、主として、前連結会計年度において発生した、個別取引先に対する売掛金の入金遅延に起因し生じた一過性の事象又は状況と考えておりましたが、上記のとおり、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が生じていると認識しておりました。

当社グループは、当該事象を解消すべく、事業収益の更なる拡大を推進した結果、当中間連結会計期間におきましては、営業利益 110,634 千円、営業活動によるキャッシュ・フロー 73,073 千円を計上いたしました。さらに、財務基盤の安定に向けて、無担保社債及び長期借入金により合計 500,000 千円の長期資金調達を完了したことに伴い、当中間連結会計期間末においては、手元流動性（現金及び預金 972,130 千円）が短期有利子負債残高（合計 608,000 千円（うち短期借入金 500,000 千円、1 年内返済予定の長期借入金 108,000 千円））を上回るとともに、流動資産残高（1,953,044 千円）が流動負債残高（1,619,854 千円）を超過し、財務健全性を回復しております。

上記に加え、事業については引き続き堅調な推移が見込まれることから、当中間連結会計期間末において、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしました。

株主、投資家及び取引先の皆様をはじめ、市場関係者並びにステーク・ホルダーの皆様には、ご心配をおかけいたしました。今後とも、当社グループとして更なる業績及び、企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

以 上